

ガンプラで物作り授業



完成したガンダムで遊ぶ児童ら

壬生の小学校

【壬生】町教育委員会は本年度、町内の全小学校で人気玩具のガンダムプラモデル（ガンプラ）で物作りの過程を学ぶ授業「ガンプラアカデミア」を初めて行っている。ガンプラのメーカー、バンダイの関連工場や「実物大」ガンダムを展示するバンダイミュージアムが立地する町にとって、身近な存在である「ガンダム」を教材に、工業生産の仕組みに関心を持ってもらうのが狙い。（小野口愛梨）

地元産業の関心喚起へ

ガンプラアカデミアは玩具メーカー「バンダイスピリッツ」（東京都港区）が提供する無料の授業パッケージ。町内では8小学校の5年生または6年生を対象に、総合的な学習や社会科の授業で12月まで順次、実施する。

1回目は9月20日、安塚小で行われ、6年生82人が参加した。プラモデルの製造工程を説明した動画を視

設 問

【1】何という名前の授業が行われているのでしょうか。リードからカタカナ9文字で書きぬきましょう。

【2】どんなことを学ぶ授業でしょうか。

【3】どんなことを狙いにしているのでしょうか。見出しやリードから読み取りましょう。

【4】壬生町とガンプラはどんなところで関わっているのでしょうか。

【5】あなたの住んでいる地域には、何の

聴し、ガンプラを製造する静岡市内の工場の様子や製造の手順を学んだ。

その後、キットを用いて10秒ほどの大きさのガンダムを1人1体ずつ組み立てた。完成後、子どもたちは自作のガンダムを手に、友人と楽しそうに遊んだ。

6年1組の佐藤澄空君は「（1）は「組み立てていく

工場があるのでしょうか。またどんな物を作っているのでしょうか。調べてみましょう。



(184)

小学校高学年向け 年 組